

スローガン

e n j o y ! !

～信頼できる仲間と共に～

理事長 中島 治保

～はじめに～

1945年の終戦から30年が経過した1975年、英知と勇気と情熱を持った69名の先輩諸兄により湖西青年会議所が誕生しました。その後、組織の変遷を経て一般社団法人浜名湖青年会議所となり本年で44年目を迎えます。今までもこの地域の先人が地域活性のためご尽力されてきましたが、これからの時代は、この国全体を押し上げていくためにも、より一層地域が活躍していく必要があると私は考えます。2019年度一般社団法人浜名湖青年会議所は、これまで先輩諸兄が築き上げた伝統を引き継ぎながらも、これからの地域に必要なことは何かを考え運動を展開し、この地域が明るく豊かになるための一助となれるよう邁進します。

また、本年度は2001年以来の静岡ブロック協議会主管をさせていただく年でもあります。ブロック協議会会長をはじめ多くの役員と出向者を輩出させていただきます。私たち浜名湖青年会議所が主導となり静岡ブロックの一年を展開させていただくことに感謝をして、たとえいばらの道でも信頼できる仲間と共に楽しみながら活動をするにより、共に成長していきます。

～地域の絆の拡大と資質向上～

この国では少子高齢化が進み、政府の予測によると2050年には人口は8千万人台に、2100年には約5千万人になるとのことです。そしてその予測は憶測ではなく、現実的なものと言われております。青年会議所会員も全国的に会員数が減少傾向にあり、浜名湖青年会議所も例外ではありません。この先も普通に過ごせばこの数字は減少するでしょう。しかしこの事実をただ悲観するのではなく、今の私たちにできることを考え行動する必要があります。

本年度の会員拡大は、一部のメンバーに頼るのではなく、メンバー全員が参加する会員拡大のシステムを構築していきます。多くの青年経済人と定期的に交流を図り、様々な業種の方々とお互いの仕事の話やこの地域の未来について熱く語り合い、その中で青年会議所の運動を多くの方に伝えていくことが大切だと考えます。そのためには、自らが青年会議所運動に積極的に参加をして、運動を正しく理解することが重要です。青年会議所の運動を正しく伝えていくことができれば、賛同していただける同士が必ずいるはずですよ。

～地域の宝である子供たちへ～

少子化の時代に生まれ、今後この地域の次代を担う子供たちは、この地域にとって宝そのものです。その子供たちが将来の夢にユーチューバーになることだと答え、2020年には小学校教育でプログラミング実習が実施されるという本当に新しい時代で、私たちの幼少期には考えられなかったことが現実に起こっています。そんな時代を生きる子供たちへ、私たちは青年会議所として何ができるでしょうか。

本年度の青少年育成は、情報が溢れる新しい時代を生きる子供たちが将来を考えるきっかけとなるような事業を展開します。それは単に新しい時代に必要な情報だけを提供するのではなく、衣食住を子供たちが経験し、美しい自然に触れ、これまでがどのような時代であったかを知ったうえで新しい時代を生きる術を身につけるための機会を提供します。

～地域の魅力を発信し、確かなものに～

近年、地域ブランディングや中小企業ブランディングという言葉を目にします。ブランディングとは文字通りブランド化するという意味です。これからの時代は、国や大企業という大規模な組織だけではなく、地域や中小企業も自らをブランドとして構築することで価値を高めていくという、組織的かつ長期的な取り組みが必要となると考えます。そして地域の魅力をブランディングすることは簡単なことではなく、多くの時間と情報と人の力が必要となります。

本年度は、地域の魅力をブランディングし、そのブランドを長期的に発信していくための本当の意味での出発点となるよう、まずは地域の魅力を再発掘する年にしたいと考えます。本年度は、静岡ブロック協議会と同時に静岡ブロック大会を主管させていただきます。ブロック大会では、本年度の集大成として再発掘したこの地域の魅力をまずはこの地域の方々に知っていただき、更には静岡ブロック全体にこの地域の魅力を発信します。

～委員会組織の再構築～

近年の青年会議所は全国的に会員数が減少傾向にあります。浜名湖青年会議所も例外ではありません。それでも浜名湖青年会議所の仲間は皆手を取り合い、積極的に運動を展開しております。今後更に組織としての団結力を高めるため、各委員会が副委員長の他にも役割を自由に設定し、メンバー一人ひとりが当事者意識を持ち、委員会メンバー全員で運動が展開できる組織作りをしていきます。

～静岡ブロック協議会の主管に関して～

2019度は2001年度以来の静岡ブロック協議会の主管をさせていただく年です。浜名湖青年会議所全体で静岡ブロック協議会の運動を下支えしていきたいと考えております。メンバー全員で静岡ブロックの運動に関する情報を共有し、会議や事業のサポートができるよう盛り上げて参ります。この一年間が静岡ブロック各地青年会議所メンバーにとって、更には浜名湖青年会議所メンバーにとって、充実した年になるよう全力で挑戦します。

～結びに～

産業界では2045年に人工知能が人間の知性を越える転換期が訪れると言われております。そんな時代を生きる青年経済人である私たちは、人間が技術と共に生き抜く術を見出す必要があります。言い換えれば、それを見出すことで今の私達が懸念している問題は解決されると考えます。では、まちづくりはどうでしょうか。人工知能がまちづくり運動をしているのでしょうか。私には想像ができません。まちづくりはやはりその地域に根付いた人間が、自分たちの住み暮らすこの地域のためにすることだと私は考えます。そして、それこそが青年会議所の使命であります。青年会議所をボランティアの一つだと捉える方が少なくないと思いますが、私にとってはそうではありません。この地域で活躍する青年経済人にとって、この地域が活性されることが巡り巡って自分や自分の周りの環境が良くなるということだと私は考えます。自分のためになることであれば、青年会議所メンバー全員が関係することです。自らが住み暮らすこの地域のために、信頼し合える仲間と共に苦しい時も、明るく楽しく元気よく青年会議所に参加しようではありませんか。

【基本方針及び重点事項】

1. 会員拡大との資質向上事業の実施
2. 地域の宝である青少年の育成事業の実施
3. 地域の魅力を再発掘し発信する
4. 委員会組織の再構築
5. 静岡ブロック協議会と連動した運動の推進
6. 新規会員拡大12名